

「ダークアップ受付法：注意事項」

～お客様に喜んで頂くために！～

(受付法)

1. 対象品を見つけたら「色を濃く、はっきりさせる加工（ダークアップ加工）ができました。いかがでしょうか。
2. チラシを配布して「このような加工（ダークアップ加工）ができるようになりましたから、お困りのお品物がありましたら、ぜひ、お試し下さい」
3. 対象になりそうな色あせのある品物にチラシをはって、または配付してお渡しする。
4. 実物見本、BA写真、またネット販促などインパクトのある宣伝ができるでしょう。

などケースバイケースで、お知らせ、お勧めしていきましょう。(加工料金別紙)

(注意事項)

- ・色を濃く、はっきりさせる加工で、色を入れる、かける加工ではないことを伝えて下さい。
- ・色が抜けて白っぽくなっている、漂白剤で白くなったものには効果がありません。
- ・もともと薄い色のもの、色あせていないものは色が濃くなることはありません。
- ・日光、蛍光灯、紫外線でヤケ、変色、退色したところには効果はありません。肩や衿部分によくあるので必ず確認して伝えて下さい。
- ・汚れがあると加工後取れなくなってしまうので、必ずクリーニングして、きれいな状態にしてから加工です。
- ・新品みたいになる、復元するなど過剰な表現はお客様の期待値を上げてしまい、クレームになる恐れがあるので気をつけましょう。
- ・永久に取れなくなる加工ではありません。しかし、色落ち防止効果もあります。
- ・もっと濃くしてほしいという再加工の依頼があっても「これ以上濃くなりません。これが限界です」とお答えして下さい。
- ・万一、効果がない！がっかりしたなどのクレームがあった時には、速やかに返金できるようにしておきましょう。
- ・万一、イメージと違った！などのクレームがあった時には、加工後、一週間位ならドライクリーニングで取れますから、速やかに対応して下さい。しかし、それ以上経過してしまうと除去が困難になるので、確認が必要そうなお客様には早目に確認して頂いて下さい。
- ・高額になっても良い方には、カラーリング、染色補正、染めという技術があることをお知らせ下さい。
- ・ダークアップ加工品は親水性で肌着にもベストです。しかし、アウターでは撥水加工が効かなくなります。対象になるものは確認をとっておきましょう。

(追記)

- ・チェック柄も刺しゅうも、色が入らないから安心です。
- ・レザー、革製品（合皮以外）は、色だけでなく柔らかく、品質も凄く向上します。
- ・衣類だけでなく、靴、鞆、帽子、スニーカーなどにも、もちろん効果あり。ぜひ、お勧めして下さい。